

議案第3号

コミュニティバスの運行見直しにかかる申請について

コミュニティバスの運行見直しに伴う「自家用有償旅客運送の変更登録の申請」及び「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出」について、次のとおり提案します。

記

- ・自家用有償旅客運送の変更登録の申請（案）のとおり
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書(案)のとおり

令和 年 月 日

九州運輸局 福岡運輸支局長 殿

名 称 みやま市
住 所 福岡県みやま市瀬高町小川 5 番地
代表者の氏名 みやま市長 松嶋 盛人

自家用有償旅客運送の変更登録の申請（案）

このたび、自家用有償旅客運送の登録事項の変更を行いたいので、道路運送法第 79 条の 7 及び同法施行規則第 51 条の 11 の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

- 名称、住所、代表者の氏名
みやま市
福岡県みやま市瀬高町小川 5 番地
みやま市長 松嶋 盛人
- 登録番号
九福市交第 14 号
- 自家用有償旅客運送の種別
市町村運営有償運送（交通空白輸送）
- 変更しようとする事項
 - 路線
別紙のとおり
 - 運送の区域
- 変更予定期日
令和 2 年 4 月 1 日

新	
旧	

様式第1-3号 別紙(4.(1)関係)

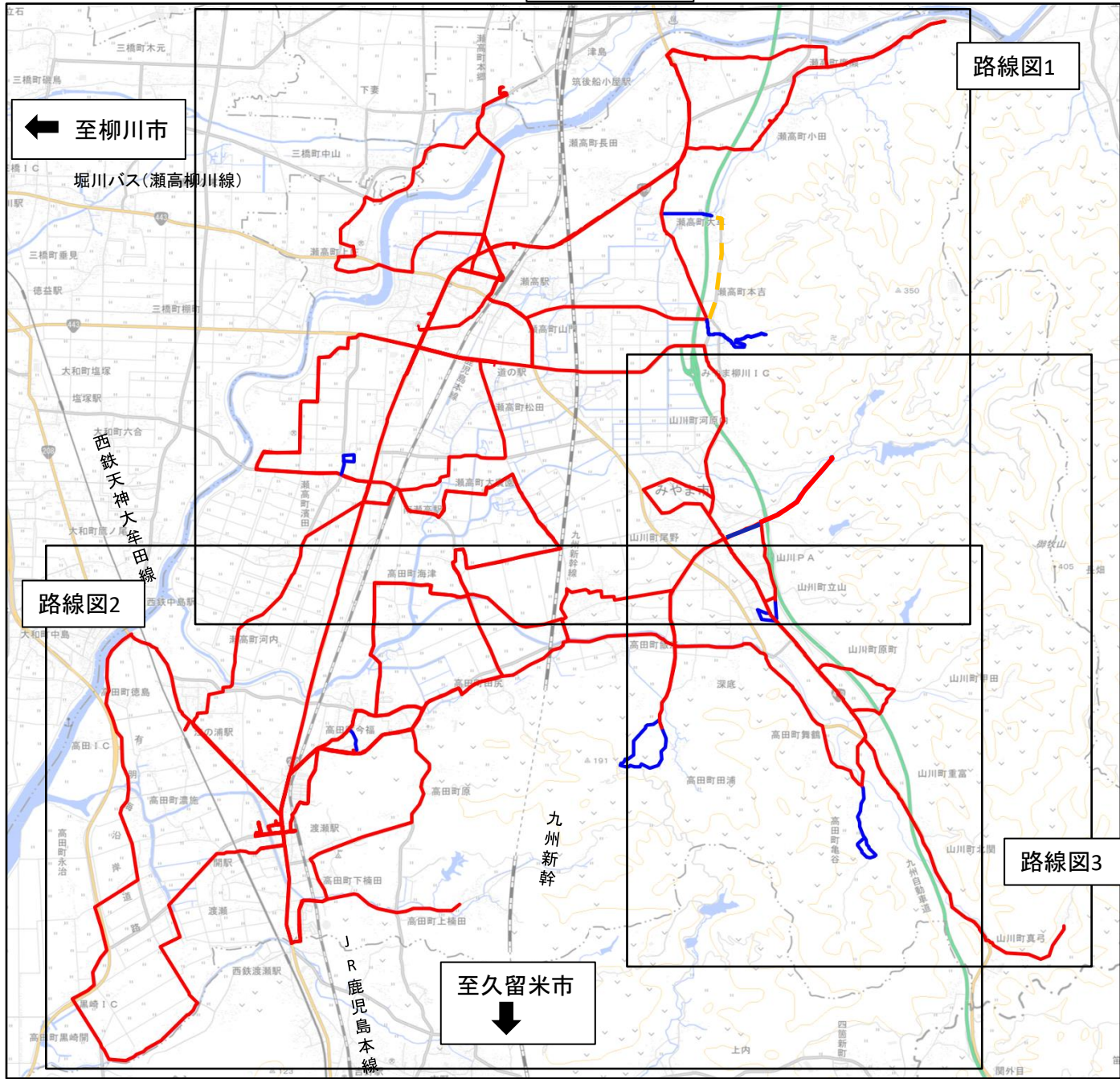
NO	項目名	変更前	変更後	変更内容	変更理由
81	起点	みやま市瀬高町大草1688番1地先(交差点)60		路線の一部区間の廃止	運行距離も時間も長すぎるため、利用の少ない区間の一部廃止を行って利便性を高めるため。
	主たる経由地	女山			
	終点	みやま市瀬高町大草842番3(女山停留所)91			
	キロ程	1.34km			
137	起点		みやま市瀬高町大草380番地3地先(交差点)113	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		大塚・女山		
	終点		みやま市瀬高町大草842番地3地先(女山停留所)91		
	キロ程		0.55km		
138	起点		みやま市瀬高町本吉108番17地先(交差点)114	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		本吉		
	終点		みやま市瀬高町大草1130番地52(清水山荘停留所)115		
	キロ程		1.00km		
139	起点		みやま市瀬高町濱田27番17地先(交差点)116	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		浜田		
	終点		みやま市瀬高町濱田2番21地先(交差点)117		
	キロ程		0.23km		
140	起点		みやま市瀬高町濱田2番21地先(交差点)117	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		浜田		
	終点		みやま市瀬高町濱田27番17地先(交差点)116		
	キロ程		0.27km		
141	起点		みやま市山川町尾野2011番1付近(尾野交差点)71	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		野町中町・屋敷		
	終点		みやま市山川町尾野367番1地先(交差点)118		
	キロ程		0.45km		
142	起点		みやま市高田町今福170番地先(交差点)119	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		今福		
	終点		みやま市高田町今福314番1(あたご苑停留所)120		
	キロ程		0.25km		

NO	項目名	変更前	変更後	変更内容	変更理由
143	起点		みやま市山川町立山1234番1地 (山川げんきかん)121	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		日当川		
	終点		みやま市山川町立山1309番1地先 (交差点)122		
	キロ程		0.27km		
144	起点		みやま市山川町立山1309番1地先 (交差点)122	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		日当川		
	終点		みやま市山川町尾野1707番1 (山川市民センター)123		
	キロ程		0.32km		
145	起点		みやま市山川町尾野1707番1 (山川市民センター)123	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		日当川		
	終点		みやま市山川町尾野1687番6地先 (交差点)124		
	キロ程		0.15km		
146	起点		みやま市高田町亀谷1160番1地先 (交差点)125	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		亀尻		
	終点		みやま市高田町亀谷1721番地先 (交差点)126		
	キロ程		0.95km		
147	起点		みやま市高田町亀谷1721番地先 (交差点)126	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		亀尻		
	終点		みやま市高田町亀谷1274番地先 (交差点)127		
	キロ程		0.30km		
148	起点		みやま市高田町田浦765番2地先 (交差点)128	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		田浦		
	終点		みやま市高田町田浦405番2地 (飯田停留所)129		
	キロ程		0.85km		
149	起点		みやま市高田町田浦405番2地 (飯田停留所)129	路線の延長	路線を延長し、バス停留所を新設するため
	主たる経由地		田浦		
	終点		みやま市高田町田浦752番 (交差点)111		
	キロ程		0.90km		

みやま市コミュニティバス 路線図

↑
至久留米市

← 至柳川市



路線図1

路線図2

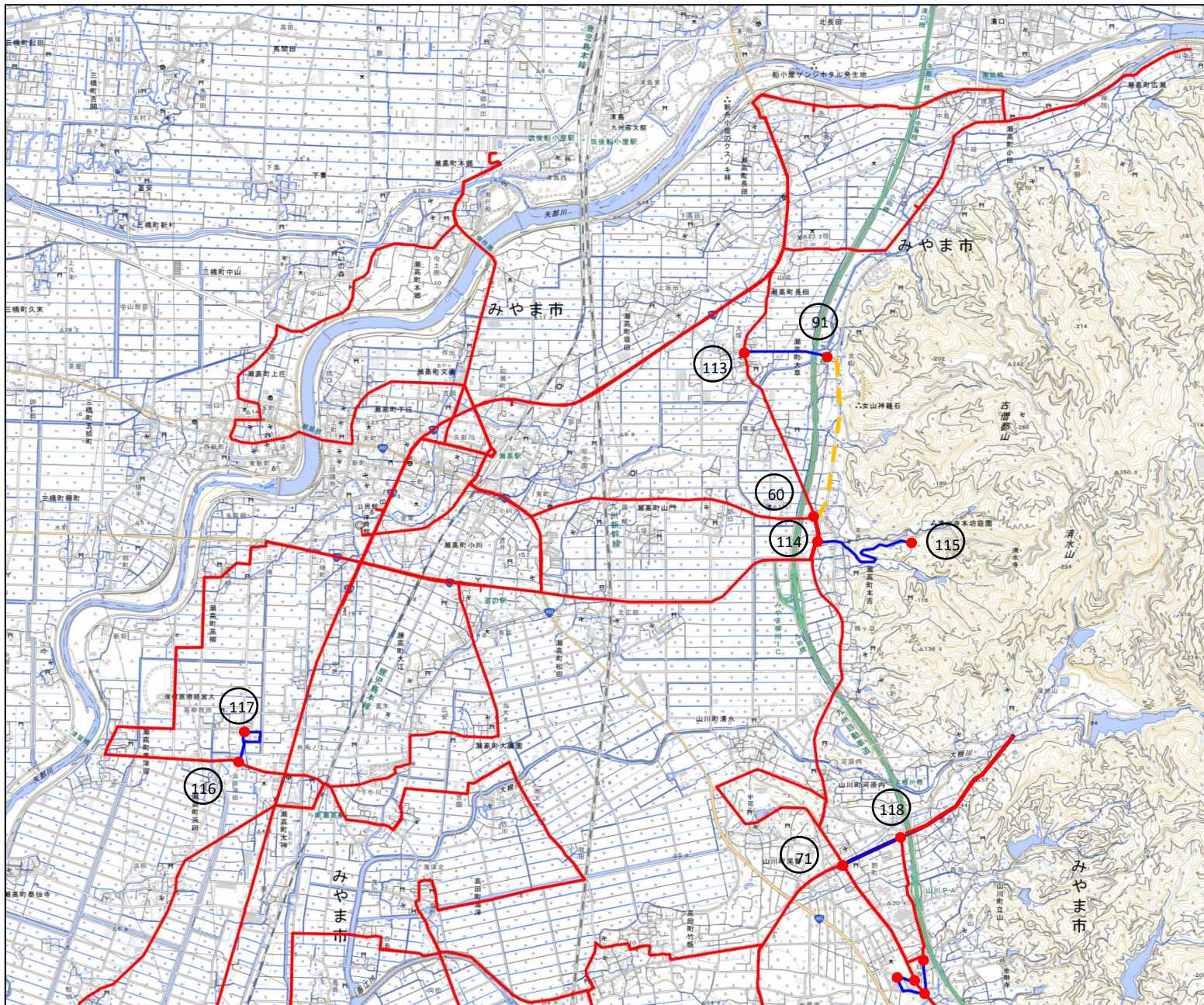
路線図3

↓
至久留米市

凡 例

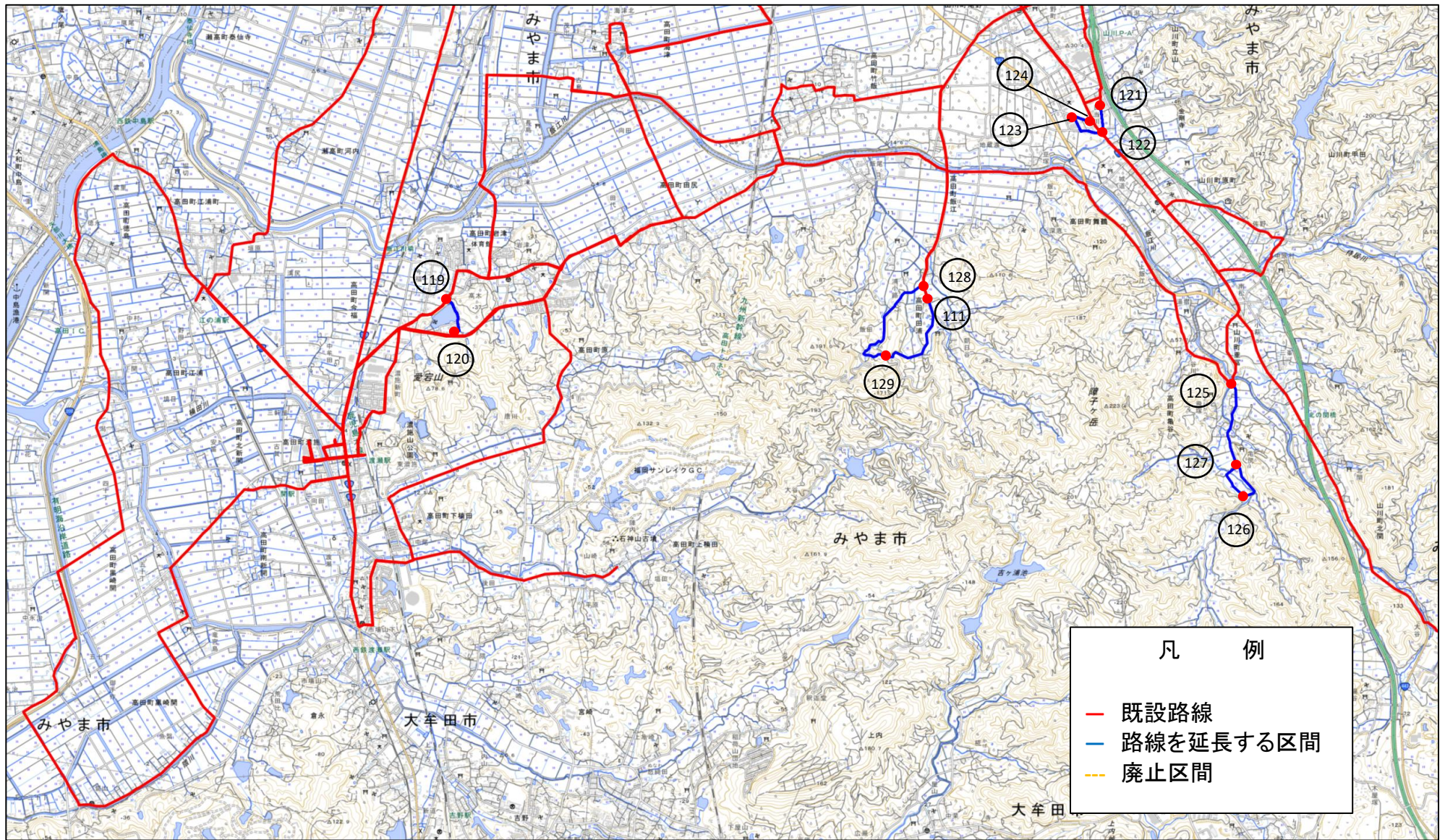
- 既設路線
- 路線を延長する区間
- - - 廃止区間

みやま市コミュニティバス 路線図1



- 凡 例
- 既設路線
 - 路線を延長する区間
 - - - 廃止区間

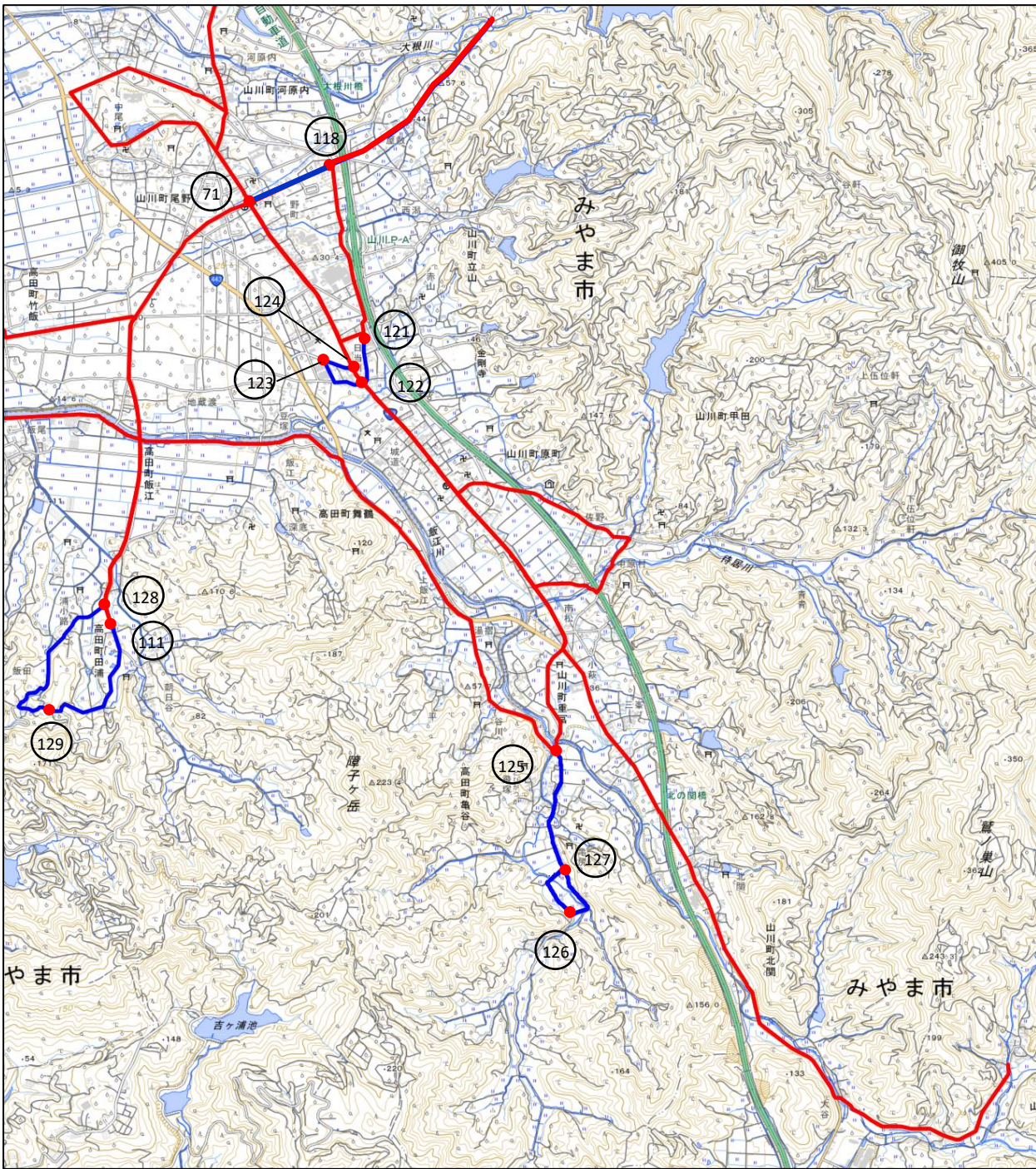
みやま市コミュニティバス 路線図2



凡 例

- 既設路線
- 路線を延長する区間
- - - 廃止区間

みやま市コミュニティバス 路線図3



凡 例

- 既設路線
- 路線を延長する区間
- 廃止区間

変更理由の別紙については議案第2号の内容。そのため添付を省略。

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 みやま市
住 所 福岡県みやま市瀬高町小川5番地
代 表 者 名 みやま市長 松嶋 盛人

地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書（案）

令和元年9月30日付け国総支第22号で国土交通大臣より認定された地域内フィーダー系統確保維持計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

記

○変更日

令和2年4月1日

○変更箇所

- ・表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域内フィーダー系統）

○変更理由

別紙のとおり運行見直しを行うため。具体的な変更理由についても別紙に記載。

※本届出書に、変更する事項を全て記した生活交通確保維持改善計画を添付すること。

生活交通確保維持改善計画の名称																																	
みやま市地域内フィーダー系統確保維持計画																																	
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性																																	
<p>本市の交通状況は、市中央部に3つの駅を有するJR鹿児島本線が南北に横断し、その西側を2つの駅を有する西鉄天神大牟田線が併走している。また、市東部には九州新幹線が走り、筑後船小屋駅が隣接している。バス路線としては、堀川バスが1路線（瀬高・柳川線）のみ、JR瀬高駅から隣接する柳川市まで運行している。市では、平成20年4月より高齢者や障害がある方等を対象に、生活交通手段の確保を目的に、福祉バスを市内全域で運行していた。しかし、利用者が限られているため、交通利便性の向上を求める意見が市民より多く寄せられ、平成30年3月より定時定路線型バス（市町村有償運送）を市内全域で運行開始した。本運行により、誰もが利用可能な定時定路線型バスが市内全域を運行することとなり、生活交通手段が確保される。</p> <p>運行にあたっては、路線バスや鉄道など既存の公共交通機関とも連携を図りながら、各地区と医療機関、商店などの生活目的施設、市役所などの公的機関を結ぶ、利用しやすい公共交通ネットワークの形成を目指す。</p> <p>また、平成30年3月、人口減少等が予測される将来においても持続可能な公共交通網を形成するため、「みやま市地域公共交通網形成計画」の策定を行った。</p>																																	
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果																																	
(1) 事業の目標																																	
<p>市民（主に高齢者等）の日常生活における移動手段の確保を目的とした、利用しやすい公共交通ネットワークの形成を目指すため、利用者数を指標として設定し、各路線の利用者数目標を設定する。</p>																																	
<p>令和2年度</p> <table> <tbody> <tr> <td>水上・本郷線</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>清水・上庄線</td> <td>1便あたり3人以上</td> </tr> <tr> <td>瀬高・高田線（太神・岩田経由）</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>高田・瀬高線（国道209号経由）</td> <td>1便あたり8人以上</td> </tr> <tr> <td>山川・瀬高線</td> <td>1便あたり9人以上</td> </tr> <tr> <td>高田南部・西部線</td> <td>1便あたり3人以上</td> </tr> <tr> <td>山川・高田線（亀谷・竹飯経由）</td> <td>1便あたり3人以上</td> </tr> <tr> <td>山川・高田線（田浦・田尻経由）</td> <td>1便あたり3人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度</p> <table> <tbody> <tr> <td>水上・本郷線</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>清水・上庄線</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>瀬高・高田線（太神・岩田経由）</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> <tr> <td>高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）</td> <td>1便あたり5人以上</td> </tr> <tr> <td>高田・瀬高線（国道209号経由）</td> <td>1便あたり9人以上</td> </tr> <tr> <td>山川・瀬高線</td> <td>1便あたり8人以上</td> </tr> <tr> <td>高田南部・西部線</td> <td>1便あたり4人以上</td> </tr> </tbody> </table>		水上・本郷線	1便あたり4人以上	清水・上庄線	1便あたり3人以上	瀬高・高田線（太神・岩田経由）	1便あたり4人以上	高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）	1便あたり4人以上	高田・瀬高線（国道209号経由）	1便あたり8人以上	山川・瀬高線	1便あたり9人以上	高田南部・西部線	1便あたり3人以上	山川・高田線（亀谷・竹飯経由）	1便あたり3人以上	山川・高田線（田浦・田尻経由）	1便あたり3人以上	水上・本郷線	1便あたり4人以上	清水・上庄線	1便あたり4人以上	瀬高・高田線（太神・岩田経由）	1便あたり4人以上	高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）	1便あたり5人以上	高田・瀬高線（国道209号経由）	1便あたり9人以上	山川・瀬高線	1便あたり8人以上	高田南部・西部線	1便あたり4人以上
水上・本郷線	1便あたり4人以上																																
清水・上庄線	1便あたり3人以上																																
瀬高・高田線（太神・岩田経由）	1便あたり4人以上																																
高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）	1便あたり4人以上																																
高田・瀬高線（国道209号経由）	1便あたり8人以上																																
山川・瀬高線	1便あたり9人以上																																
高田南部・西部線	1便あたり3人以上																																
山川・高田線（亀谷・竹飯経由）	1便あたり3人以上																																
山川・高田線（田浦・田尻経由）	1便あたり3人以上																																
水上・本郷線	1便あたり4人以上																																
清水・上庄線	1便あたり4人以上																																
瀬高・高田線（太神・岩田経由）	1便あたり4人以上																																
高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）	1便あたり5人以上																																
高田・瀬高線（国道209号経由）	1便あたり9人以上																																
山川・瀬高線	1便あたり8人以上																																
高田南部・西部線	1便あたり4人以上																																

山川・高田線（亀谷・竹飯経由）	1 便あたり 3 人以上
山川・高田線（田浦・田尻経由）	1 便あたり 3 人以上
令和 4 年度	
水上・本郷線	1 便あたり 4 人以上
清水・上庄線	1 便あたり 4 人以上
瀬高・高田線（太神・岩田経由）	1 便あたり 5 人以上
高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）	1 便あたり 6 人以上
高田・瀬高線（国道 209 号経由）	1 便あたり 10 人以上
山川・瀬高線	1 便あたり 9 人以上
高田南部・西部線	1 便あたり 4 人以上
山川・高田線（亀谷・竹飯経由）	1 便あたり 4 人以上
山川・高田線（田浦・田尻経由）	1 便あたり 4 人以上

（2）事業の効果

本運行により、市民（主に高齢者等）の通院、買い物等の日常生活に必要な移動手段が確保される。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・コミュニティバスの利用状況や市民の意見を基にした運行サービスの定期的な評価を実施し、市民の移動ニーズに応じたコミュニティバスのルート・ダイヤの継続的な見直しを行う。（みやま市、交通事業者、住民）
 - ・市広報誌や市ホームページに運行内容、乗り方などの利用方法の情報を掲載することで利用促進を図る（みやま市）
 - ・利用の多いバス停の待合環境の改善を図るため、上屋・ベンチを設置するための各施設との調整を行う。（みやま市）
 - ・視認性の向上、コミュニティバスのPRと愛着の醸成を図り、利用促進につなげるため、コミュニティバス車両とバス停表示板のデザイン化を引き続き実施する。（みやま市）
 - ・各種市民団体などに対してコミュニティバスのPRを行い利用促進を図る。（みやま市）
 - ・コミュニティバス沿線で開催される各種イベント時の運送方法の検討及び企画を行う（みやま市）
 - ・各種イベントと連携した企画券の発行について各関係機関との協議を行う（みやま市）
 - ・コミュニティバスの利用状況の集計、広報資料の作成を行い、市報などで公開する（みやま市）
 - ・高齢者等へのモビリティ・マネジメントを行う（みやま市）
- （みやま市地域公共交通網形成計画 P76、P77、P82、P84、P85、P88、P89、P90、P92、P93を参照）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1」を添付

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

みやま市においては、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

みやま市
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法【 活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ 】
該当なし
8. 別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要【 地域間幹線系統のみ 】
該当なし
9. 別表1の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧【 地域間幹線系統のみ 】
該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性【 外客来訪促進計画が策定されている場合のみ 】
該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【 地域内フィーダー系統のみ 】
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付
13. 車両の取得に係る目的・必要性【 車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ 】
該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【 車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ 】
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者【 車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ 】
該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【 公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ 】
該当なし

17. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成29年1月31日(第1回) 協議会設立
- ・平成29年3月28日(第2回) 運行内容の協議
- ・平成29年6月26日(第3回) 運行内容の協議
- ・平成29年8月17日(第4回) 平成30年度計画の協議・承認
- ・平成29年10月24日(第5回) 運行内容の協議
- ・平成29年12月25日(第6回) 運行内容の協議、平成30年度計画変更の協議・承認
- ・平成30年1月31日 運行内容についての書面協議、承認
- ・平成30年2月22日(第7回) 運行内容の協議
- ・平成30年3月26日(第8回) 平成30年度計画変更の協議・承認
- ・平成30年6月4日 平成30年度計画変更について書面報告
- ・平成30年6月25日(第9回) 平成31年度計画の協議・承認
- ・平成30年11月2日(第10回) 平成31年度運行計画の変更の協議(筑後広域公園プール玄関前まで路線延長、一部の系統の運行ダイヤの見直し)
- ・平成31年1月10日(第11回) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の協議・承認
- ・令和元年6月21日(第1回) 令和2年度計画の協議・承認
- ・令和元年11月11日(第2回) 令和2年度運行計画の変更の協議(路線の延長、一部区間廃止、運行ダイヤの見直し)・承認

18. 利用者等の意見の反映状況

みやま市地域公共交通活性化協議会の委員として市民代表7名に参加いただき、市民意見を計画に反映させた。

19. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	福岡県企画・地域振興部交通政策課
関係市区町村	みやま市総務部企画振興課、柳川市総務部企画課
交通事業者・交通施設管理者等	九州旅客鉄道(株)、堀川バス(株)、瀬高交通自動車(有)、ニコニコ光タクシー(株)、福岡県南筑後県土整備事務所、柳川警察署
地方運輸局	福岡運輸支局
その他協議会が必要と認める者	NPO法人タウン・コンパス(学識経験者)、みやま市議会、行政区長会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、堀川バス労働組合

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 福岡県みやま市瀬高町小川5番地

(所属) みやま市総務部企画振興課

(氏名) 宮川 浩則・堤 哲志

(電話) 0944-64-1504

(e-mail) kikaku@city.miyama.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

2020年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統キロ程	計画運行 日数	計画運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象地域間幹線系統等との接続確 保策	基準二で該 当する要件 (別表7の み)
みやま市	みやま市	(1) 水上・本郷線(循環)	市立図書館	みやま市役所	市立図書館	(循環) 38.5km	309日	618.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(2) 清水・上庄線(循環)	市立図書館	みやま市役所	JR瀬高駅	(循環) 36.7km	309日	618.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(3) 瀬高・高田線(太神・岩田経由①)(循環)	市立図書館	市役所高田支所	市立図書館	(循環) 39.0km	309日	618.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と南瀬高駅及び渡瀬駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(4) 瀬高・高田線(太神・岩田経由②)(循環)	市立図書館	市役所高田支所	市立図書館	(循環) 37.5km	309日	618.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と南瀬高駅及び渡瀬駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(5) 高田・瀬高線(江浦・浜田・大江経由)(循環)	JR渡瀬駅	みやま市役所	JR渡瀬駅	(循環) 24.4km	309日	927.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅及び渡瀬駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(6) 高田・瀬高線(国道209号経由)(循環)	新船小屋	市役所高田支所	新船小屋	(循環) 31.5km	309日	1545.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅及び南瀬高駅、渡瀬駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(7) 高田・瀬高線(国道209号経由)	新船小屋	JR瀬高駅	JR瀬高駅	往 4.5km 復 0.0km	309日	154.5回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(8) 山川・瀬高線①(循環)	真弓公民館	みやま市役所	真弓公民館	(循環) 37.3km	309日	1236.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(9) 山川・瀬高線②(循環)	山川げんきかん	みやま市役所	真弓公民館	(循環) 24.5km	309日	309.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③
みやま市	みやま市	(10) 山川・瀬高線③	JR瀬高駅	市役所山川支所	真弓公民館	往 12.7km 復 0.0km	309日	154.5回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と瀬高駅にて接続、堀川バスの瀬高・柳川線と瀬高駅にて接続	③

- (注)
1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
 2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
 3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
 4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
 5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
 6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

2020年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統キロ程	計画運行 日数	計画運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象地域間幹線系統等との接続確 保策	基準二で該 当する要件 (別表7の み)
みやま市	みやま市	(11) 高田南部・西部線① (循環)	あたご苑	市役所高田支所	あたご苑	(循環) 29.8km	309日	309.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と渡瀬駅にて接続、西日本 鉄道の天神大牟田線と開駅及び江の浦駅にて接 続	③
みやま市	みやま市	(12) 高田南部・西部線②	ヨコクラ病 院前	市役所高田支所	JR渡瀬駅	往 26.0km 復 0.0km	309日	309.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と渡瀬駅にて接続、西日本 鉄道の天神大牟田線と開駅及び江の浦駅にて接 続	③
みやま市	みやま市	山川・高田線(亀 谷・竹飯経由) 【往路】	山川げん きかん	西竹飯	JR渡瀬駅	往 15.9km 復 17.6km	309日	927.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と渡瀬駅にて接続	③
みやま市	みやま市	山川・高田線(田 浦・田尻経由) 【復路】	山川げん きかん	あたご苑	JR渡瀬駅	往 15.2km 復 17.6km	309日	927.0回		路線定期	②(1)	JR九州の鹿児島本線と渡瀬駅にて接続	③
							0日	0.0回					
							0日	0.0回					
							0日	0.0回					
							0日	0.0回					
							0日	0.0回					
							0日	0.0回					

- (注)
1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
 2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
 3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
 4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
 5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
 6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。